



**2024-2025**  
**No.1782**  
**2025.3.6**

会長：金井康二 幹事：古池好幸  
会員数：50(内2名特別会員) 会場出席：29 欠席：21  
出席率：60.42% 前回出席率：52.08%  
点鐘：金井康二 会長 司会：松井千恵子 副S A A  
国歌斉唱  
ロータリーソング：四つのテスト (ソングリーダー：齋藤 豊)  
例会場：ホテルペラヴィータ 3F 12:30～

**会長の時間**

**金井康二 会長**



皆さん、こんにちは。3月はロータリーの特別月間のうちの『水と衛生月間』です。

水のことを考えていましたら、学生時代に読んだ『砂の惑星』という小説を思い出しました。原題は『デューン・Dune』といます。物語は、貴重な物質（スパイス）を求めて宇宙の国々が争う物語でしたが、現在のレアアースを求めて争う姿を見ると、ただの夢物語ではなかったのだと思いました。

この物語の内容はあまりにも壮大なため、映画化は無理といわれていましたが、1984年にデビット・リンチ監督で初めて映画化され公開されました。そしてその内容は、のちの『スター・ウォーズ』に影響を与えたといわれています。

さて、ロータリーでは『安全な水と衛生設備の利用は、すべての人が持つべき権利といっています。しかし汚染水で病気になる人や命を落とす人が後を絶ちません。未来を担うはずの子どもたちは、水汲みなどの労働によって学校にも通えず、つらい境遇を強いられています。私たちの活動は、井戸を掘るだけではありません。安全な水と衛生設備を提供した上で、衛生や伝染病予防に関する教育も行う事で、コミュニティ全体の生活を改善し、子どもの通学率を高めている。』といっています。

日本は、世界の中で安心して水道水を飲むことができる数少ない国です。日本にいるとそのことに気が付きませんが、海外に出ると多くの国でビールより水の方が高いことに気が付きます。そのたびに日本に生まれて良かったことを実感します。

以上で会長の時間とさせていただきます。

**幹事報告**

**古池好幸 幹事**

- ①本日例会終了後、理事会を開催致します。
- ②地区より2025 - 2026年度の地区役員、委員の就任依頼が届いています。ガバナー諮問委員として生方彰君、

第5分区ガバナー補佐として赤井幸夫君、職業奉仕・国際奉仕・地域社会奉仕委員会副委員長として高橋昭紀君、米山記念奨学委員として古池好幸の4名です。

- ③地区よりガバナー月信3月号発刊のお知らせが届きました。地区のホームページより閲覧下さい。
- ④今年度クラブ育英奨学内定の2名とも志望校合格の連絡が来ました。

**ポール・ハリス・フェロー**

**敬称略**



生方眞司 (PHF+3) 金井康二 (PHF+1) 茂木清七 (PHF+1) 島田崇弘 (PHF) 須田恭弘 (PHF) 眞下大輔 (PHF) 高橋和朗 (PHF) 齋藤豊 (PHF)

**米山功労者**

**敬称略**



山田晃 (第21回) 金井利夫 (第8回) 林秀彦 (第8回) 生方眞司 (第7回) 金井康二 (第2回) 代田幸彦 (第1回)

金井 康二・古池 好幸

①本日は、北野浩司郎大先輩の貴重な自伝を拝聴させていただきます。

②小澤君、準グランプリ獲得おめでとうございます。

北野 浩司郎

今日は卓話者として私の自伝という事で話をさせていただきますが、つまらない話になると思いますががまんして下さい。

生方 眞司

本日でご利用いただきありがとうございます。私は都合でお休み致します。

林 秀彦

本日、沼田社協理事会に出席のため早退します。

小澤 博之

先日は妻の誕生日にきれいなお花を頂きましてありがとうございました。また「にっぽんの宝物」の全国大会出場の時はご声援を頂きありがとうございました。残念ながら本選出場なりませんでした。

宮田 美行

①小澤君、にっぽんの宝物JAPAN大会において準グランプリ獲得おめでとうございます。

②本日、都合により早退します。北野さん、すみません。

SAA（原澤ふじ子・本山佳宏・赤井幸夫・武井順一・松井千恵子）

本日の卓話はSAAの重鎮、北野浩司郎会員です。出席率100%を誇る北野氏のお話を皆さんと楽しみましょう。

連名（高橋和朗・生方彰・松井千恵子・金井利夫・本山佳宏・石坂一男・関美津男・武井順一・戸谷直樹・堤大樹・植村仁・武井正男・石田宇平・赤井幸夫・茂木清七・原澤ふじ子・高橋昭紀・真下大輔・齋藤豊・小林信広・小林若葉・富井潤・林秀彦・小曾根一雄）

にっぽんの宝物JAPANグランプリにて、和スイーツ部門で小澤君が準グランプリ獲得しましたので、お祝います！



## 出席報告

戸谷直樹 委員



## 本日の卓話



金井利夫会員

姉妹クラブである台北南門RCとの交流について。毎年ご招待いただく会長交代式が非常に賑やかに、こちらの周年行事のように行われます。また空港での出迎えから、前日のウエルカムパーティーや観光でも大歓迎を受けます。数回の来日の際には、尾瀬観光やスキーなども体験され一緒に楽しく過ごしました。



北野浩司郎会員

生まれは東京中野の新井薬師の近く。薬師様の縁日が楽しみでした。父親が沼田の出身で、日本橋の魚河岸で奉公していて、やがて薬師の方で魚屋となりました。7～8人は使っていたと思います。

やがて戦争になり、働いていた人も出征したりして、私もねえやの実家（埼玉）へ30日くらい疎開しました。しかし東京へ戻ってからも空襲が続き、母親と姉と4人で疎開することになり沼田へと来ました。その後、父親も沼田へと来ましたが、東京から自転車にリヤカーで来たものですから、まるで面影が無くすぐには父親と気付かないほどでした。

中野の家は空襲で焼けてしまい、戦後は色々な事情で結局沼田に残ることになりました。そこで父親は、皮を仕入れて靴を作って商売を始めました。グローブやバッグ、スキー靴なんかも作ってました。

私は、沼田高校に入学しスキー部に入りました。大学進学するつもりはなく、高3でもスキーのインターハイに出場していましたが、成績はまあまあ良かったようで、1校だけの受験という約束で、明治大学を受験。これに合格して商学部へと進学しました。しかしスキー部にはあいにく縁がなく、囲碁部に入り、囲碁将棋ともに3段となりました。

就職先は、大阪のスポーツ用品の営業職でした。この時誘われてゴルフを始めたんですが、あるコンペで初出場、初優勝をしてしまいました。 …来週へ続く…